

(第一面)

# コンクリート工事施工状況・施工結果報告書

令和 年 月 日

建築主事 様

報告者(建築主)住所  
氏名



下記建築物について、建築基準法第12条第5項の規定により施工状況・施工結果報告書を提出します。  
なお、この施工状況・施工結果報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

作成者	工事監理者	( )級建築士 (大臣・知事) 登録 第 号 ( )級建築士事務所 ( ) 登録 第 号 住所 TEL( )-( )- 氏名 印		
工事施工者	施工者名 建設業許可(特定・一般) 第 号 住所 TEL( )-( )- 代表者			
工事名称				
建築場所				
建築主住所・氏名	住所 氏名			
設計者	( )級建築士 (大臣・知事) 登録 第 号 ( )級建築士事務所 ( ) 登録 第 号 住所 TEL( )-( )- 氏名			
建築確認	平成 年 月 日 第 号			
用途等				
工事概要	工事種別	新築・増築・		
	構造	S・RC・WRC・SRC・PC・他( )		
	階数等	地下: 階 地上: 階 PH: 階 高さ: m		
	面積	建築面積: m <sup>2</sup> 延べ面積: m <sup>2</sup>		
建築確認後の構造関係変更事項	変更: 有・無 変更内容			
かぶり厚さの最小値(実測値) (単位: mm)	部位	土に接しない部分	土に接する部分	
	柱	屋外	屋内	
	梁	屋外	屋内	
	床	屋外	屋内	
	耐力壁	屋外	屋内	
	非耐力壁	屋外	屋内	
	基礎杭			
外壁仕上げの種類等	・タイル張り ・吹付タイル ・リシン吹付 ・ペイント塗り ・コンクリート打放し ・その他(具体的に)( )			
使用材料等	セメント	種類	ポルトランドセメント ・ 高炉セメント ・ シリカセメント ・ フライアッシュセメント	
		種別		
		製造工場		
	細骨材	産地		
		種別		
	粗骨材	産地		
		種別		
		最大寸法		
	混和材料	・A E剤 ・減水剤 ・A E減水剤 ・高性能A E減水剤 ・流動化剤		
		・その他( )		
レディーミストコンクリート	工場名			
	JIS番号	平成 年 月 日 第 号		
運搬時間	～ 分			
ポンプ車	機種名	能力	m m <sup>3</sup> /h	

## (第二面)

コンクリート圧縮強度 試験結果に関する考察	
鉄筋継手の試験結果に 関する考察	
塩化物量測定結果に関 する考察	
アルカリ骨材反応対策 に関する考察	
その他 コンクリート・鉄筋・ かぶり厚等の材料の品 質・不具合の措置等に ついて	
添付図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート調合計画表</li> <li>・鉄筋継手の試験結果</li> <li>・コンクリート圧縮強度の試験結果</li> <li>・塩化物量の試験結果</li> <li>・鉄筋鋼材品質証明(ミルシート)</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>
記入上の注意	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 該当する確認事項・検査事項に○印を付け、必要事項を記入すること。</li> <li>② この報告書に記載しきれない事項については、別紙にまとめること。</li> <li>③ 添付図書の欄は、添付しているものについて○印を付けること。</li> <li>④ 添付図書の各種検査結果は、第四・五面の検査結果表を利用し、出来るだけ一 覧表にまとめること。</li> </ol>

※ 鉄筋のミルシート（裏書きミルシート含む）、その他コンクリート、鉄筋の各種試験結果を原本で提出する場合は、書類提出時に担当者申し出下さい。検査終了後お返し致します。

( 第 三 面 )

調 合 計 画	番 号	打設部位	打設時期	コンクリ ートの種 類	設計基準 強度 (N/mm <sup>2</sup> )	調合強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	空 気 量 (%)	水セメン ト比 (%)	単位水量 (kg/m <sup>3</sup> )	細骨材率 (%)
	1										
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
15											
コ ン ク リ ー ト 劣 化 対 策	塩化物量の予測						塩害対策( 有・無 )				
	( ) 0.3kg/m <sup>3</sup> 以下						( ) 調合( W/C %、スランプ cm)				
ト 劣 化 対 策	( ) 0.30kg/m <sup>3</sup> を超え 0.60kg/m <sup>3</sup> 以下						( ) 防せい剤				
	( ) 0.60kg/m <sup>3</sup> を超える						( ) 床下端の鉄筋のかぶり厚さ cm				
劣 化 対 策	塩害の要因( 有・無 )						アルカリ骨材反応対策( 有・無 )				
	( ) 海砂						( ) 無害骨材の使用				
劣 化 対 策	( ) 混和剤						( ) 低アルカリ形セメントの使用				
	( ) 海水中の塩分						( ) アルカリ総量 kg/cm <sup>3</sup>				
劣 化 対 策	( ) その他 ( )						( ) 混合セメントの使用				
	記入上の注意						①記入欄が足りない場合は、コピーして下さい。				

※ コンクリート調合表を原本で提出する場合は、提出時に担当者に申し出下さい。検査終了後お返し致します。



## (第五面)

コンクリートの試験検査結果 (検査ロットごとに記入のこと)

ロット NO.	コンクリート 打込箇所	コンクリート 打込年月日	コンクリート の種類	塩化物量 (kg/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	空気量 (%)	養生温度 (℃)	設計基準強度	強度管理材令	圧縮強度②	圧縮強度③	圧縮強度④	試験機関名
								呼び強度	圧縮強度①		支柱除去材令	P S 導入材令	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	
		H 年 月 日	普通・軽1・軽2 ( )					N/mm <sup>2</sup>	28日・ 日	28日 N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	N/mm <sup>2</sup>	

## ※記入上の注意

①記入欄が足りない場合は、コピーしてください。

②コンクリート打込箇所には、杭・基礎・地中梁・☆階立上り・☆階床等を記入すること。

③圧縮強度①には受入検査 (標準養生試験体) を、圧縮強度②には構造体コンクリート検査 (現場水中養生・現場ふうかん養生・コア又は標準養生試験体) を、圧縮強度③には支柱除去時期決定用試験体 (現場水中養生) を、圧縮強度④にはプレストレス導入時期決定用試験体 (現場水中養生) の試験結果を記入すること。

※コンクリート圧縮試験結果を原本で提出する場合は、担当者に申し出下さい。検査終了後お返し致します。